いわき市青少年育成市民会議
好間地区推進協議会だより

編集発行
いわき市青少年育成市民会議
好間地区推進協議会

事務局
いわき市立好間公民館

１面　新聞から学ぶ
２面　愛の一声運動・おやこ体験教室
３面　好間ジュニア学級・大なわとび大会
４面　好間町ポスター展・標語展

新聞から学ぶもの

好間地区推進協議会
会長　片寄　秀雄

子どもたちの活字離れが言われるようになってから久しい。テレビの普及に始まり、テレビゲーム。そしてスマホなどによるメールのやり取りが重大な事件の要因になったことが日本中を駆け巡った。社会的な判断力の欠如が引き起こした事件とも言えよう。

社会的判断力を育てるためには、学校教育の中で醸成することが基本となるが、それぞれの家庭で購読している新聞からも養育者が責任を持って考える。新聞記事を読むことが有効であるとも考えられる。

新聞は、広く東日本大震災や東京電力福島第一原発事故から復興など幅広い地域の身近な話題や、児童・生徒の情報を網羅したものである。

新聞は、社会の窓口の役割を果たしていると言っても良い。

学習状況調査（全国学力・学習状況調査）は、平成二十六年度の全国学力テストで、福島県では新聞を読む児童・生徒の割合は全国より高かった。杉昭重教育長は、「新聞を読む児童・生徒の国語の成績は全国平均よりも特に高い傾向にあるとの分析結果を紹介。

数学の応用問題を解くには読解力も必要であるとし、「国語だけではなく、あらゆる科目の学力向上に新聞を使っていきたい」と学校現場での新聞活用を一層進める姿勢を示している。

また、学力の高い児童・生徒の特長は、食事や睡眠など規則正しい生活を送るよう心掛けることが大切である。朝、目が覚めたら顔を洗い、清新な気持ちで朝食をとり、夜は家族と夕食を日へ一日の反省をし、明日への期待を胸に床につくようにすれば、きまりよい生活を送ることができると思われる。

私事で恐縮ながら、一年生に入学した昭和二十四年は、まだ戦後間もない時期で、我が家には外部から入る情報は、ラジオと新聞しかなかった。夕方の子どもに向けのラジオ放送や新聞も読めない年齢になったころに、だんだんと興味を持ち、4・5年生の時は、ほとんどの記事に目を通していたように思う。

テレビの時代になっても、短くまとめられたニュースよりも、文字で表現された新聞のニュースの表現の豊かさにひかれ、朝の顔を洗うと新聞に目を通すことが日課となっている。

平成二十六年度事業経過

平成二十六年六月九～十三日
第一回愛の一声運動（三十六名出席）

平成二十六年十月二十一～二十七日
第二回愛の一声運動（三十三名出席）

平成二十六年十一月十七～二十一日
第三回愛の一声運動（二十五名出席）

平成二十六年十一月十五日
おやこ体験教室
～おやこ「陶芸」教室～

平成二十六年十一月三十日
第十八回好子連大なわとび大会（共催）

平成二十七年一月下旬より
第四十四回好間町少年ポスター展・
第三十二回社会を明るくする運動標語展
入賞作品掲示
（各小中学校・公民館）
※ポスター・標語は好間公民館に
三月上旬まで掲示

平成二十七年二月二十八日
第四十四回好間町少年ポスター展・
第三十二回社会を明るくする運動標語展
表彰式（主催）
「三ない運動啓発活動」（十名出席）

平成二十七年三月八日
まちづくり文化講演会
「三ない運動啓発活動」（十名出席）

好間町少年ポスター展・社会を明るくする標語展

第44回好間町少年ポスター展及び第32回社会を明るくする標語展を、好間町子ども会育成会連絡協議会との共催で実施しました。
各小学校の御協力によりまして、ポスター展には664点、標語展には243点の応募がありました。
標語については片寄秀雄先生と武田喜美男先生に、ポスターについては草野周子先生に、それぞれ審査いただきました。
入賞作品は、各小学校を巡回して展示された後、好間公民館に展示され、2月28日（土）に表彰式が行われました。なお、標語については、好間一・二・三・四小、好間中学校、好間公民館の標語掲示板に、入賞作品のうち最優秀賞から銀賞までの作品が掲示されておりますので、ご覧ください。 上位入賞者と作品は次のとおりです。

第４４回　好間町少年ポスター展入賞者

優秀賞（6点）

学　年	学　区	氏　名
1年	一小	田巻　隆雅
2年	一小	馬上　由愛
3年	三小	渡邉　海零
4年	四小	比企　京一郎
5年	四小	松本　花凜
6年	二小	阿部　みゆ

金賞（12点）

学　年	学　区	氏　名
1年	一小	船山　幸之介
	二小	吉田　來夢
2年	一小	西方　柚羽
	二小	大和田　愛菜
3年	二小	寺田　道子
	三小	渡邉　美里
4年	一小	渡邉　寿音
	二小	鈴木　咲凪
5年	一小	斎藤　優衣
	一小	安積　凛々子
6年	一小	大和田　夏帆
	二小	中村　桃

銀賞（18点）

学　年	学　区	氏　名
1年	一小	鈴木　風凱
	二小	千葉　康生
	四小	野舘　七海
2年	二小	近藤　嵩悟
	三小	小林　愛音
	四小	志賀　悠紀
3年	一小	向山　陸
	一小	永井　涼雅
	二小	折笠　陸
4年	一小	吉野　恵深
	一小	根本　菜桜
	二小	草野　早紀
5年	一小	中村　柚香
	二小	冨塚　陽奈子
	四小	鈴木　樹里
6年	一小	鈴木　宏武
	一小	矢吹　将
	二小	井川　知哉

第３２回　社会を明るくする標語展入賞者・作品

最優秀賞（1点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	二小	中村　桃	声かけで　広がる地域の　輪と笑顔

優秀賞（2点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
5年	一小	松﨑　優聖	ありがとう　その一言で　みな笑顔
5年	四小	遠藤　光琉	帰り道　守ってくれる　地域の目

金賞（5点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	二小	阿部　みゆ	思いやる　心を持って　過ごそうよ
6年	二小	髙萩　沙都	ポイ捨ては　その場の心も　汚すこと
6年	四小	大榊　鈴音	守ろうよ　好間の自然　みんなの宝
5年	一小	大場　千奈	あいさつは　してもされても　いい気持ち
5年	二小	国井　準介	がんばって　節水節電　取り組もう

銀賞（7点）

学　年	学　区	氏　名	標　語
6年	一小	渡邉　浩平	限りある　少ない資源を　大切に
6年	二小	草野　雄大	好間川　きれいな流れ　永遠に
5年	一小	大槻　龍弥	手をあげて　だいじな命を　守ります
5年	二小	田子　美波	小さな火　消したつもりが　大火事に
5年	二小	肥後　桃子	元気よく　笑顔であいさつ　気持ちよい
5年	二小	片寄　葵衣	万引きで　自分の未来を　すてないで
5年	四小	松本　花凜	ポイ捨ては　あなたの心も　よごすこと